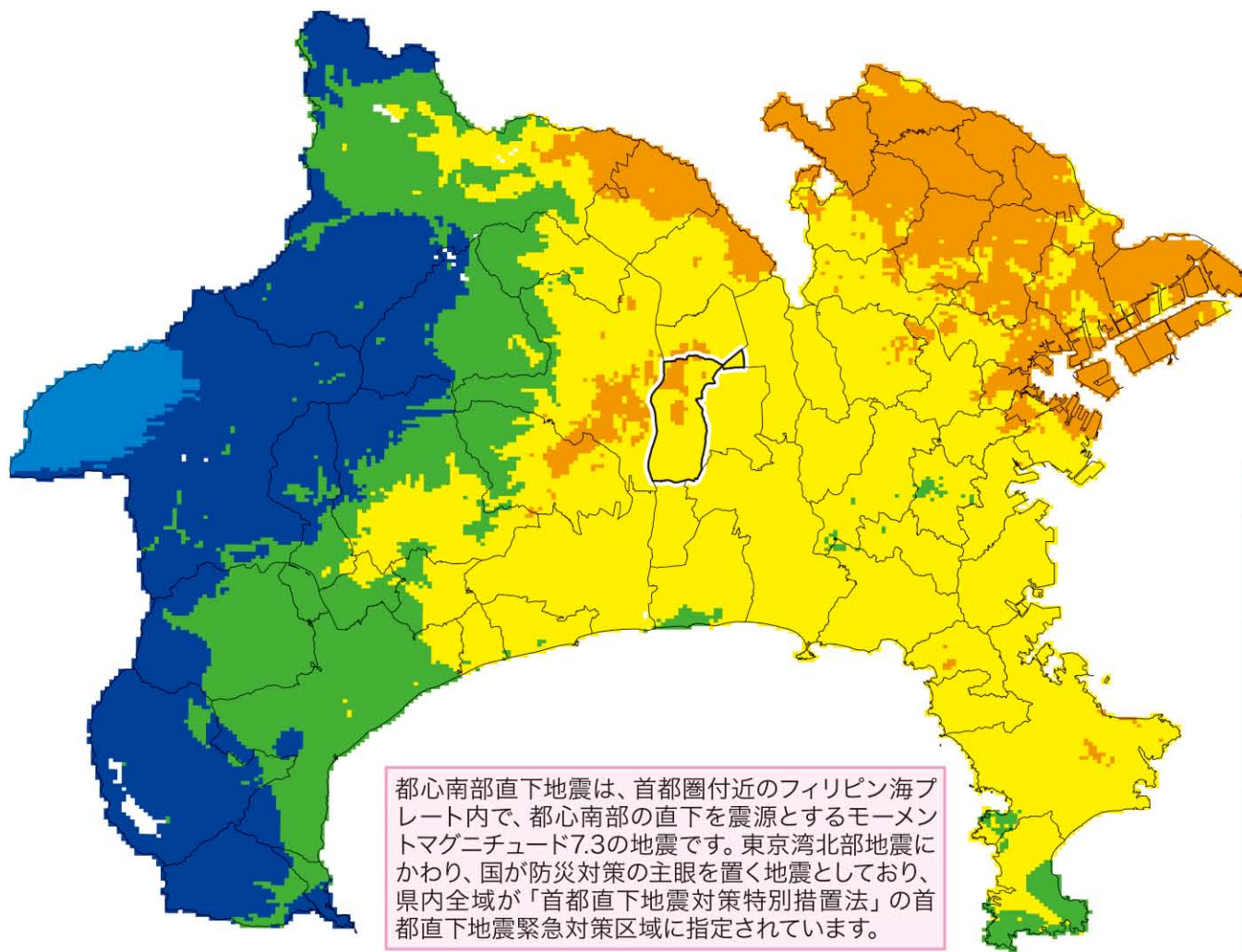


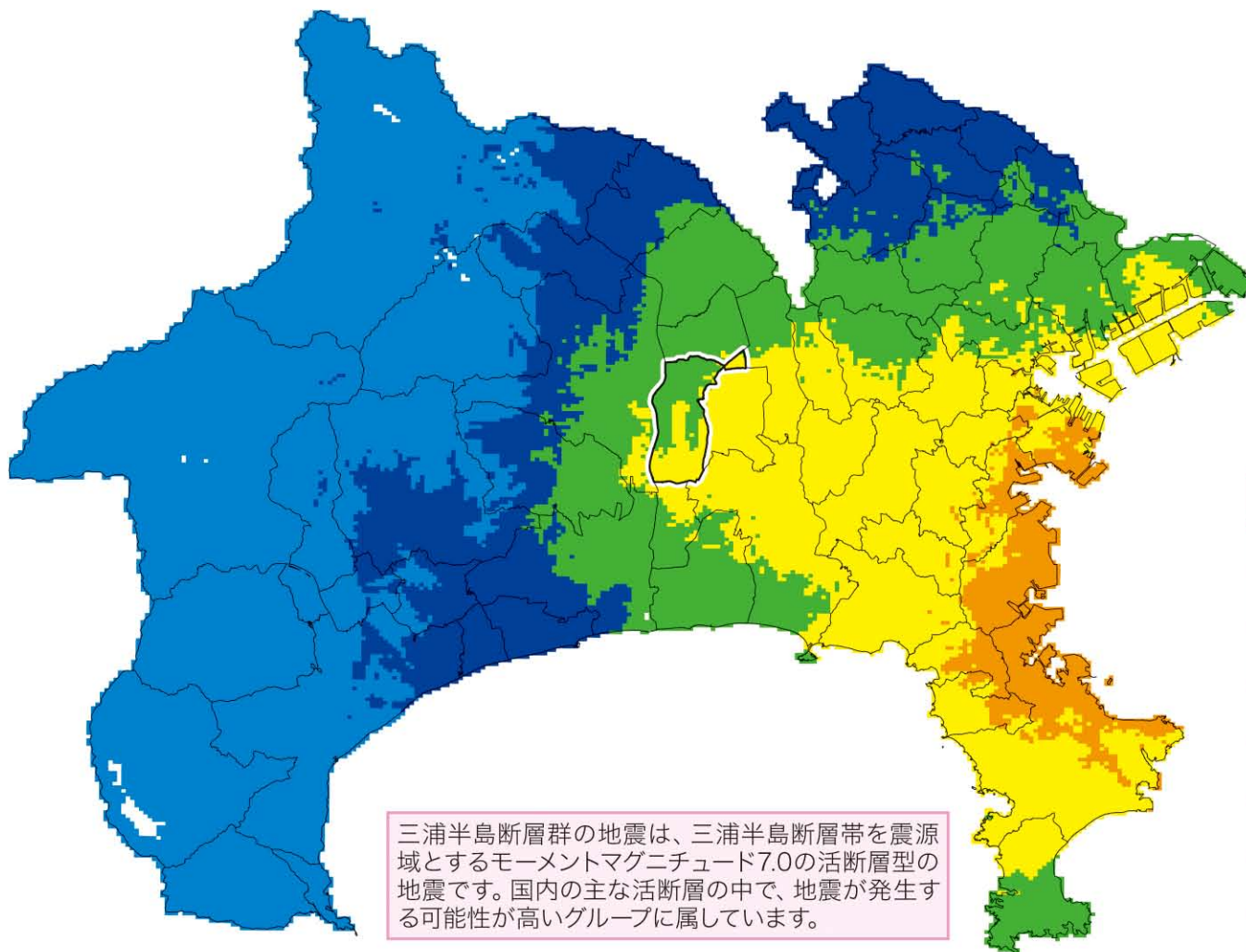
# 1 都心南部直下地震 震度分布図



都心南部直下地震は、首都圏付近のフィリピン海プレート内で、都心南部の直下を震源とするモーメントマグニチュード7.3の地震です。東京湾北部地震にかわり、国が防災対策の主眼を置く地震としており、県内全域が「首都直下地震対策特別措置法」の首都直下地震緊急対策区域に指定されています。

凡 例	
記号	震度
	震度7
	震度6強
	震度6弱
	震度5強
	震度5弱
	震度4
	震度3以下

## ② 三浦半島断層群の地震 震度分布図



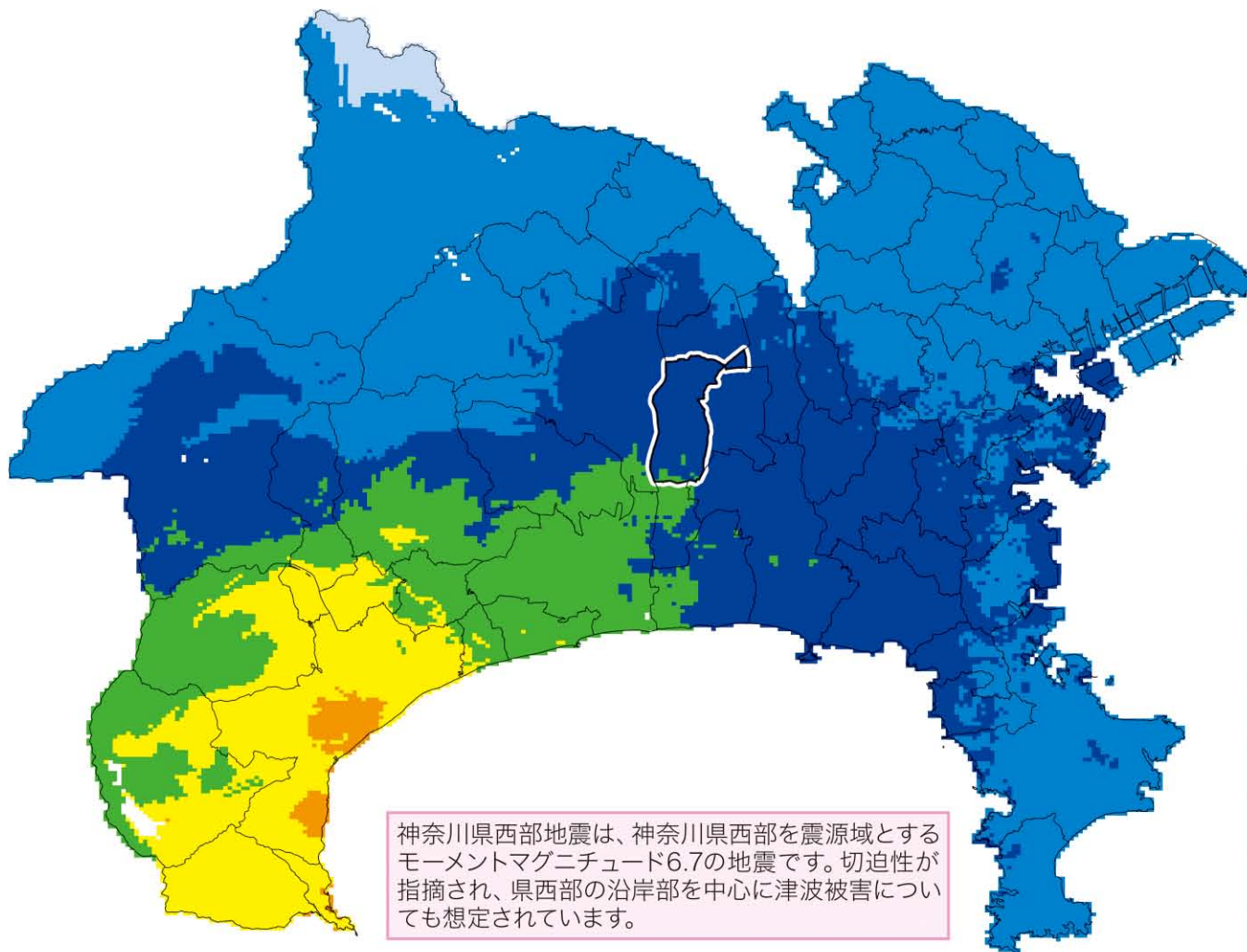
三浦半島断層群の地震は、三浦半島断層帯を震源域とするモーメントマグニチュード7.0の活断層型の地震です。国内の主な活断層の中で、地震が発生する可能性が高いグループに属しています。

### 凡 例

記号	震度
	震度7
	震度6強
	震度6弱
	震度5強
	震度5弱
	震度4
	震度3以下



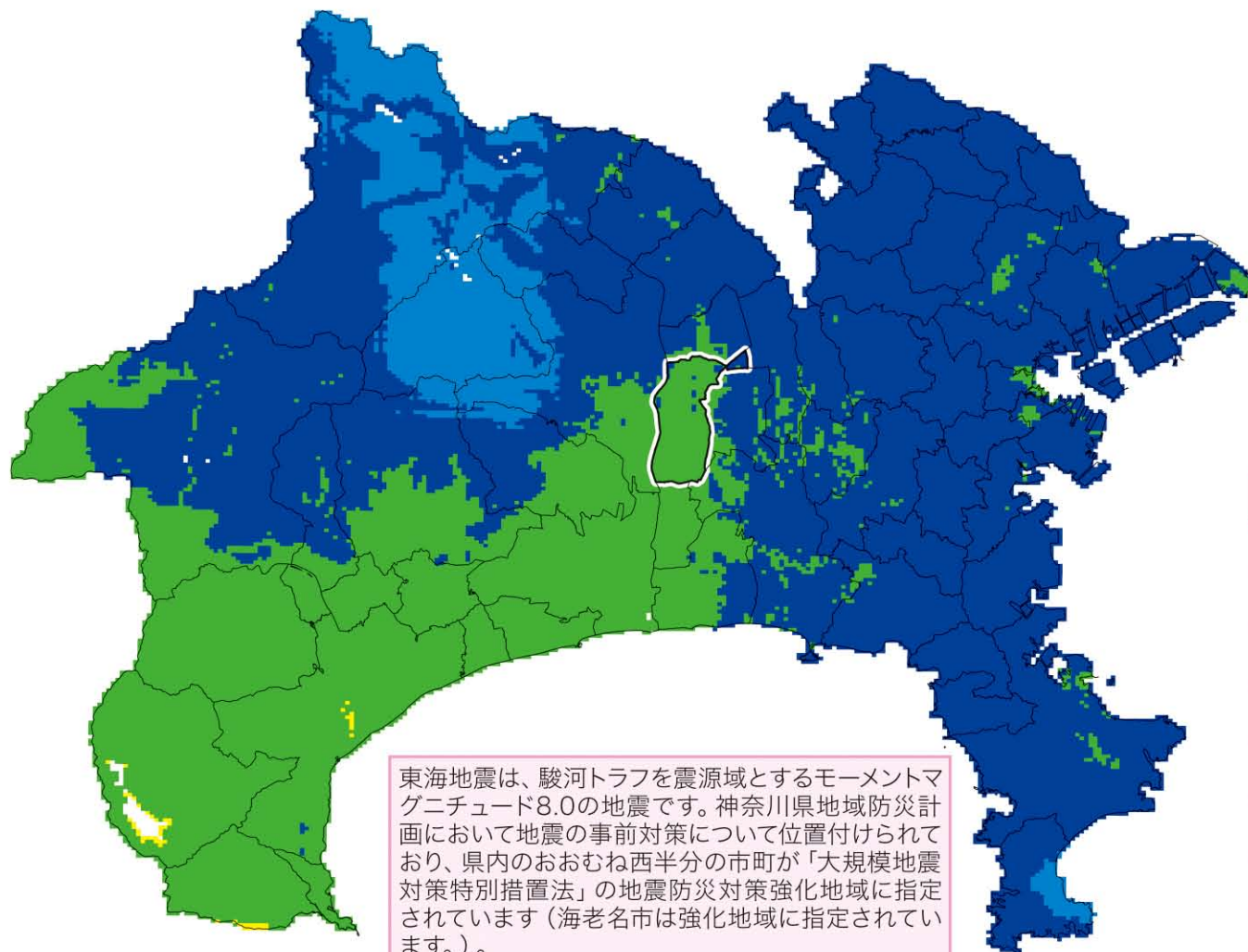
# ③ 神奈川県西部地震 震度分布図



神奈川県西部地震は、神奈川県西部を震源域とするモーメントマグニチュード6.7の地震です。切迫性が指摘され、県西部の沿岸部を中心に津波被害についても想定されています。

凡 例	
記号	震 度
■	震度7
■	震度6強
■	震度6弱
■	震度5強
■	震度5弱
■	震度4
■	震度3以下

# ④ 東海地震 震度分布図

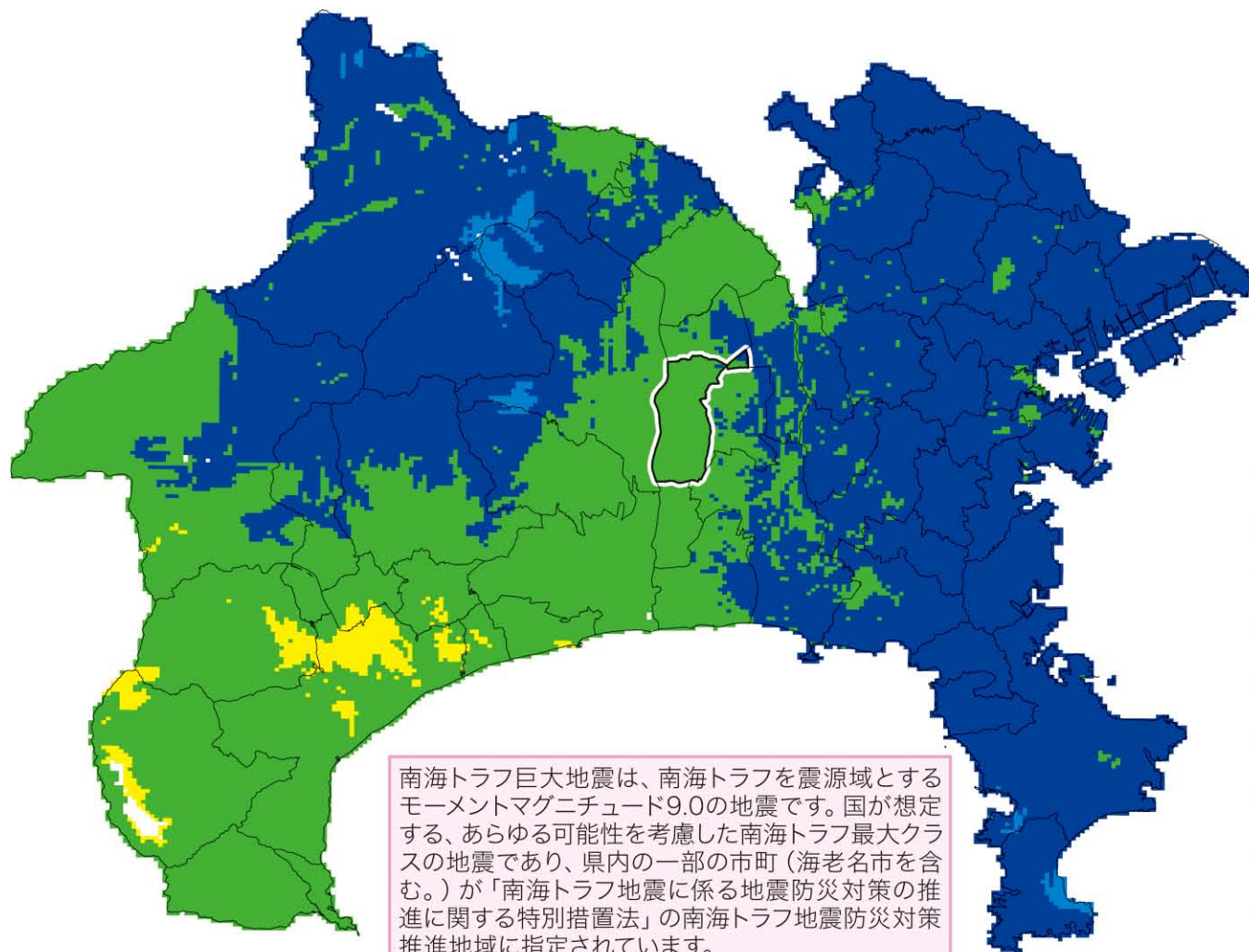


東海地震は、駿河トラフを震源域とするモーメントマグニチュード8.0の地震です。神奈川県地域防災計画において地震の事前対策について位置付けられており、県内のおおむね西半分の市町が「大規模地震対策特別措置法」の地震防災対策強化地域に指定されています（海老名市は強化地域に指定されていません。）。

凡 例	
記 号	震 度
■	震度7
■	震度6強
■	震度6弱
■	震度5強
■	震度5弱
■	震度4
■	震度3以下



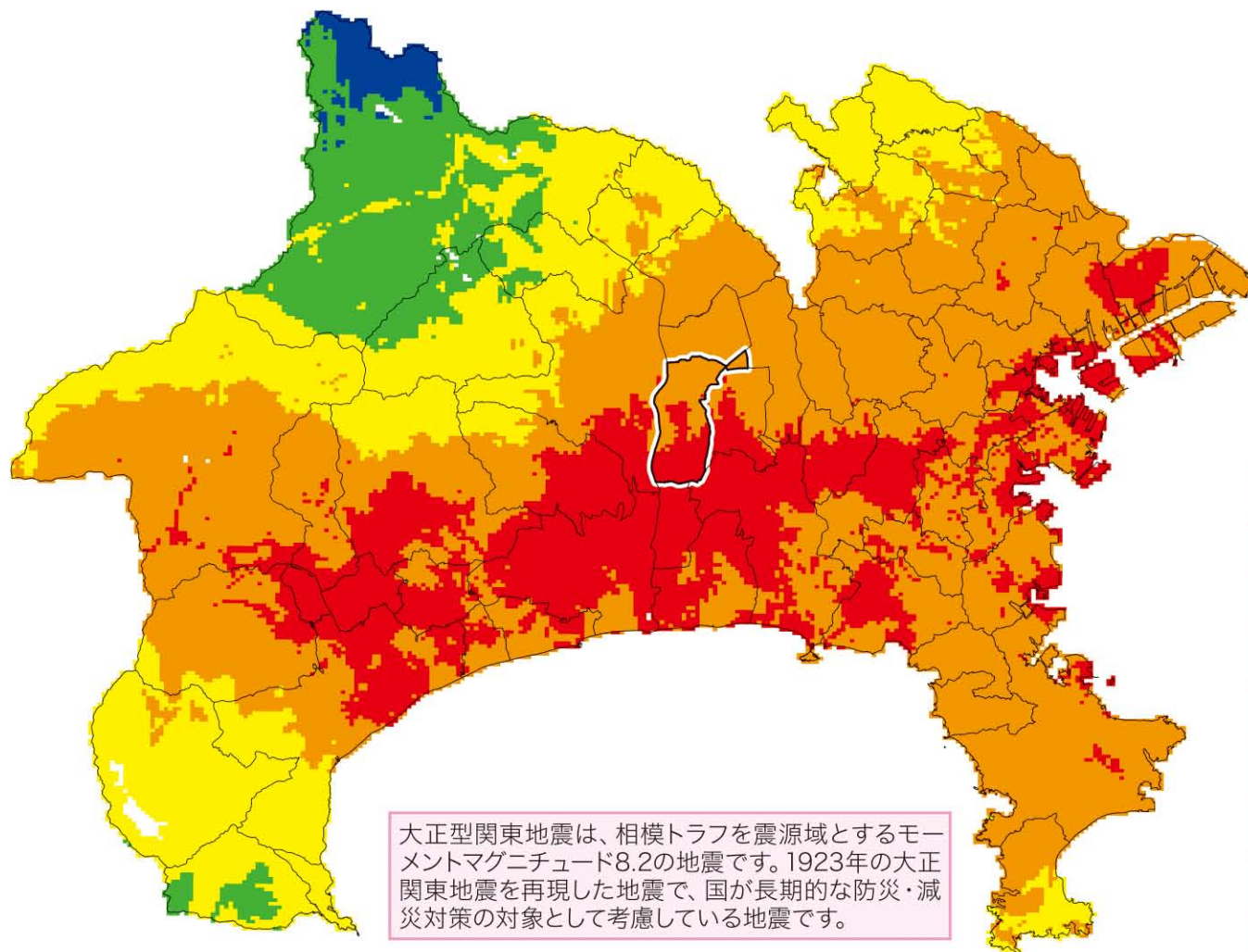
# ⑤ 南海トラフ巨大地震 震度分布図



南海トラフ巨大地震は、南海トラフを震源域とするモーメントマグニチュード9.0の地震です。国が想定する、あらゆる可能性を考慮した南海トラフ最大クラスの地震であり、県内の一部の市町（海老名市を含む。）が「南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法」の南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されています。

凡 例	
記 号	震 度
■	震度7
■	震度6強
■	震度6弱
■	震度5強
■	震度5弱
■	震度4
■	震度3以下

# ⑥ 大正型関東地震 震度分布図

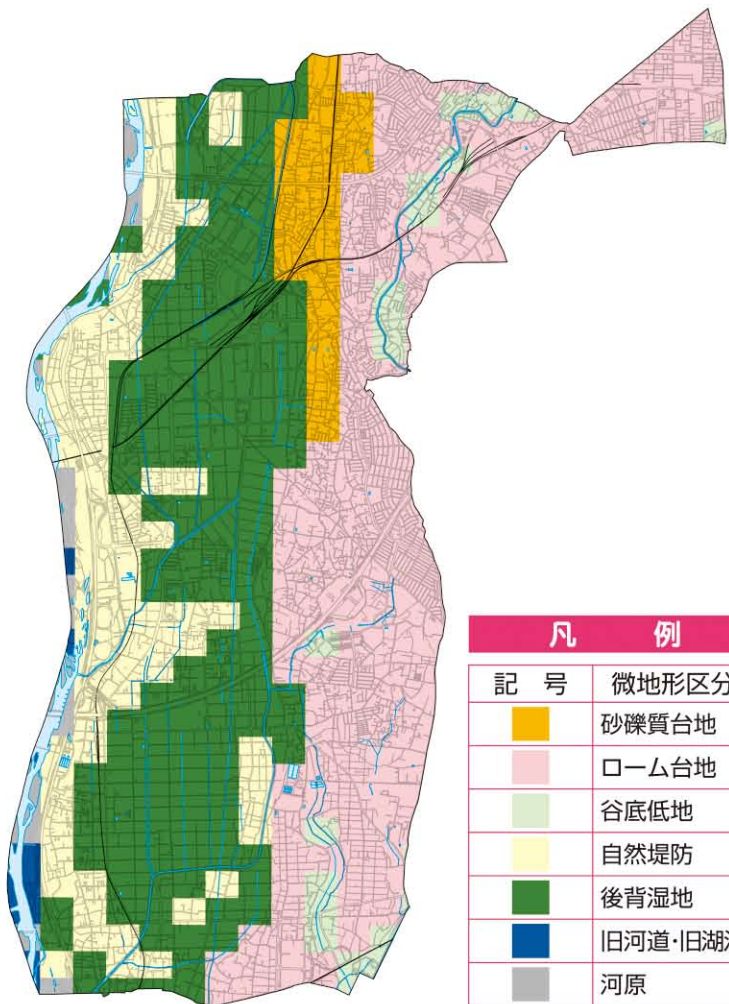


大正型関東地震は、相模トラフを震源域とするモーメントマグニチュード8.2の地震です。1923年の大正関東地震を再現した地震で、国が長期的な防災・減災対策の対象として考慮している地震です。

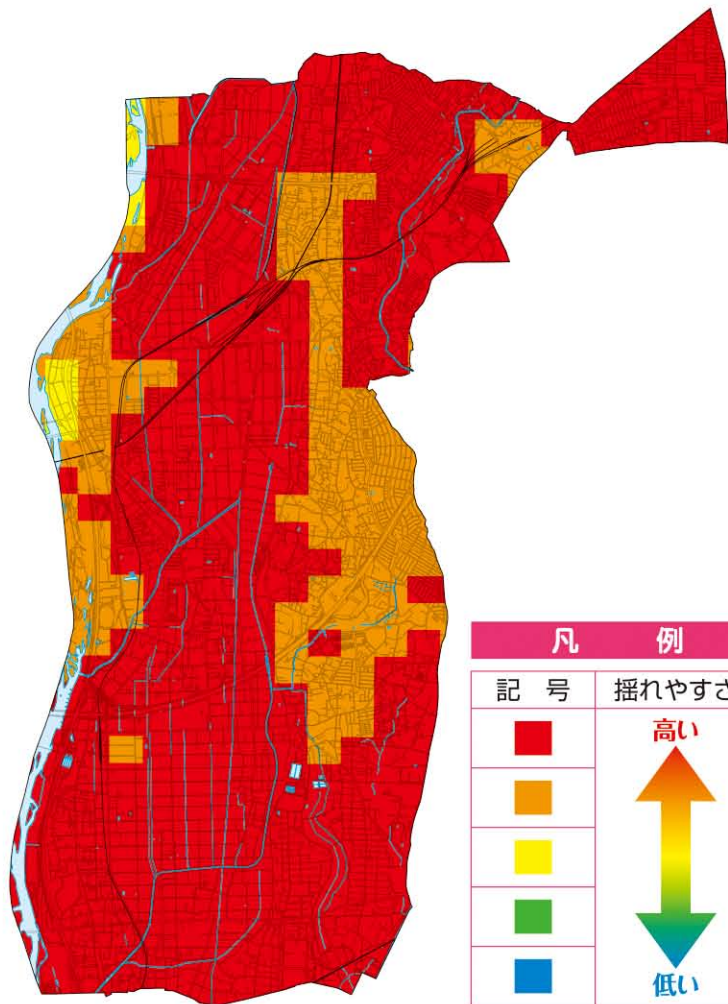
凡 例	
記 号	震 度
	震度7
	震度6強
	震度6弱
	震度5強
	震度5弱
	震度4
	震度3以下



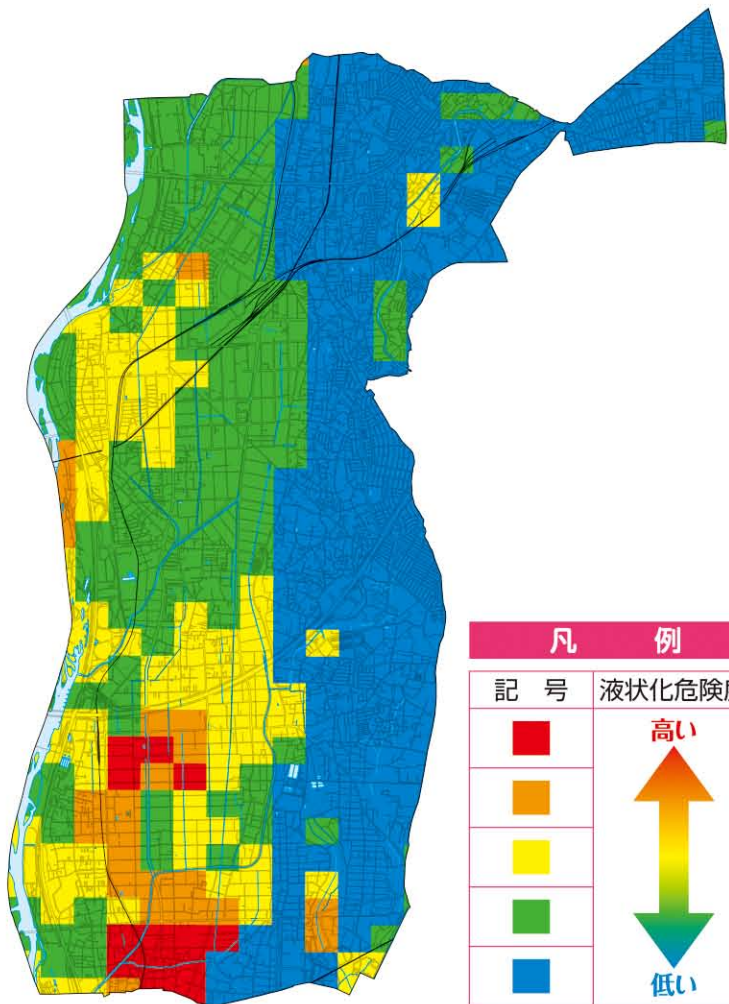
# 7 微地形区分図



# 8 揺れやすさマップ



## ⑨ 液状化危険度マップ



凡 例	
記号	液状化危険度
■	高い
■	↑ ↓ 低い
■	
■	
■	
■	
■	低い

## ● 説 明



### ①～⑥ 震度分布図

神奈川県地震被害想定調査（平成27年3月）において、神奈川県に及ぼす被害の量的・地域的な状況や、発生 of 切迫性などを考慮して選定された地震の震度分布図です。

### ⑦ 微地形区分図

微地形とは、地形図上では判別しにくい非常に小規模な地形をいい、これを250m四方メッシュで24種類の微地形に区分したものです。そのうち、海老名市では、7種類の微地形に該当しています。

### ⑧ 揺れやすさマップ

神奈川県下の地殻内に一律にモーメントマグニチュード6.8の震源を想定し、ボーリングデータと微地形区分データから増幅度を用いて地表面での揺れやすさを5段階に分類したものです。

### ⑨ 液状化危険度マップ

地震が発生した際に地盤が液体状になる現象をボーリングデータと微地形区分図を用いて、5段階に分類したものです。